

岩倉市タウンミーティング（いわくら塾）会議録

平成27年2月23日(月)

午後1時10分～午後2時40分

市役所 会議室4

出席者 いわくら塾 9名

市長 副市長 総務部長 企画財政課長 秘書課長

企画政策グループ長 広報広聴グループ2名

1 あいさつ

市長あいさつ

2 懇談（要旨）

テーマ「これまでの取り組みとこれからの取り組み」について

市長、総務部長より「マニフェスト」に基づいて説明を行い、質疑応答、懇談を行った。

【質問】 石仏スポーツ広場南に整備する敷地については購入するのか借りるのか。また、完成はいつか。

【回答】 土地は購入します。完成の年は決まっていません。市の単独事業ではなく、国の補助金を獲得し事業を実施する予定です。

【質問】 桜通線の整備事業について用地確保が一部なされている。幅員16メートルの道路になると聞くが概要は。

【回答】 サクランドの前のような両側に歩道が付いた道路になります。

【質問】 取得した土地に看板と囲いがしてあるが、事業開始までの期間、用地を活用することはないか。子どもたちが道路で遊んでいて危険である。

【回答】 例えば、3年間の限定で遊び場として開放することは考えられなくもありません。

【質問】 名古屋江南線の総体文南側陸橋はどのようになるのか。また、完成の時期はいつか。

【回答】 陸橋を無くして平面交差で4車線の道路になります。来年度に迂回路に着工し、2年ほどかかります。ただ、現状では交差の角度の関係で規制された交差点になってしまいます。その解消のため土地を購入

することになりますが、買収が終わっていない部分があるので、完成時期は未定です。

【質問】 竹林公園の堤防に桜を植えることはできないか。

【回答】 堤防に木を植えることは法により許可がされません。

【質問】 川側ではなく反対側に植えることは可能ではないか。

【回答】 県は堤防から3メートルまでを管理道路として確保しています。3メートルでは道路として機能しないので、市でさらに1メートル購入し4メートルとしています。桜を植えると隣接の家屋について考慮しないといけないので、さらに土地の購入が必要になります。予算上厳しいので、できません。ただし、どの様にしたら市民の皆さんが親しめるのかを、桜並木の景観とは違いますが竹林公園からの道路として整備をしていきます。

【質問】 景観も大切であるが、木は根を張るので防災の観点からも有効ではないか。

【回答】 岩倉の場合は堤防というよりは掘割のような形態ですが、河川に木を植えることは認められません。現存しているものまでは撤去を求められないが、植え替えはできません。桜並木保存会の皆さんも新しい木が植えられず困っています。

【質問】 東南海地震についての備えを教えてください。

【回答】 備蓄の食料は人口の1割の3食分、4,800食×3を備蓄しています。水については耐震性の貯水槽もあり3~4週間分の確保はされています。大きな災害については、防災ではなく減災の観点で備えています。以前は3日分の食料と水の備えをと言っていましたが、南海トラフの被害予想以降は1週間と言われています。また、来年度に市で直下型地震の被害予想調査を行います。

【質問】 桜まつりで、いわくら塾は岩倉駅で観光案内をしている。電車から降りた客がまず尋ねることは、桜まつり会場の場所とトイレの場所です。桜まつり会場の説明はできるが、トイレの案内はどの様にしたらいいのか分からない。基本的には桜まつり会場に特設トイレがあること、駅の西口にもあることを説明しているが駅の西口のトイレはおすすめができない。市の窓口となる駅の公衆トイレを整備してほしい。

【回答】 駅西トイレの建替え予定はあり設計もできています。ただ、27年度に予定していたが名鉄との費用負担の課題があり現状は足踏み状態です。現存のトイレは建替えを行い、臨時トイレをバス停横に設置する予定です。

【質問】 駅西ロータリー地下に公衆トイレを設置することはできないか。

- 【回答】 当初は考えたが、排水をポンプアップしなければいけないため、地上に設置する場合の何倍の費用が必要なので断念しました。
- 【質問】 桜まつりのトイレについての対策は。桜通線の用地に仮設トイレを設置してはどうか。
- 【回答】 周辺住民に迷惑がかかるので難しい。
- 【質問】 市が生涯学習センターのトイレに案内するようにしてもらえばよいが。生涯学習センターやバローのトイレに行っている人もいる。西口のトイレは会場の反対側です。
- 【回答】 トイレ問題は地図を作り説明がいらぬようにするのも一つの場合であると思います。状況はお聞きしたので商工農政課と話をします。
- 【質問】 生涯学習センターのトイレを積極的にすすめてよいか。
- 【回答】 NPOの指定管理となっているので調整します。
- 【質問】 一番困っていることは、団体の高齢化である。会員を増やしたいが65歳過ぎの男性は加入してもらえない。
- 【回答】 昔からの課題です。設立からメンバーが変わらないことが多いです。
- 【質問】 市でまちづくりの講演会等を開催してもらい会員の増加につなげたいが。子ども大学を開催しているが子どもが忙しく予定が難しい。子どもの予定が一目でわかるようにしてほしい。
- 【回答】 カレンダーを作る時点の予定、2月末の予定を公表するよう指示をしてあります。

3 その他

総務部長より資料に基づき組織機構の変更について説明。

- 【質問】 高齢化社会で老人の孤独死の状況はどうなっているか。
- 【回答】 一人暮らしの場合は可能性があるの見守りを本人の了解を得ながら行っています。郵便局、新聞配達、信用金庫などと提携を結んでいます。ある地区では自主的に行われているところもあります。

副市長あいさつ

以上